

～「朝読」から「家読」へ～

家読（うちどく）で読みニケーション

読書で家族のつながりを深めましょう

「家読（うちどく）」をご存知ですか？

桑名市にも取り組んでいる学校があります。

家読は家族のコミュニケーションを深める新しい読書スタイルです。

読書推進のためのさまざまな活動が行われる中なぜ家読が注目され、全国に広がっているのでしょうか。その効果と取り組み方法を紹介していただきます。

Q 家読（うちどく）とは？

A 家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話すことです。

家読（うちどく）とは「家庭での読書」のことで、学校の「朝の読書」で身についた読書の習慣を家庭に広げることが目的としています。また、読書の楽しさを知った子どもたちが、今度は、家庭でも家族みんなで本を読むことを通して、家庭のコミュニケーションや絆を深めていこうという取り組みです。

日時：2010年 11月27日（土）

時間：14:00～16:00

場所：ふるさと多度文学館 2階 視聴覚室

対象：学校関係者・子どもの読書に関心のある方

参加費：無料



講師：佐川二亮（さがわ・つぐすけ）氏

家読推進プロジェクト代表・朝の読書推進協議会顧問。

昭和22年福島県生まれ。

出版業界で出版情報誌の編集に従事しながら、平成7年「朝の読書」を提唱した高校教師らと朝の読書推進協議会を創設して同運動を全国の学校に広める運動を展開。平成18年、「朝の読書」の家庭版として「家読（うちどく）」運動を立ち上げ、現在全国の自治体や図書館、学校関係者らと、「家読運動」の国民運動に取り組んでいる。

申込みについて

受付開始日：10月6日（水）

定員

50名 事前申込み制・先着順

申込方法：電話・窓口

申込・問合せ先

ふるさと多度文学館

桑名市多度町多度二丁目24 - 1

電話（0594）48-7000

